

第四商業高等学校（第1学年）

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ E 組
 使用教科書： （ 現国705『新現代の国語』（三省堂） ）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】 社会生活を豊かに生きるために必要な言語や言葉について、その特質を理解し適切に使うことができる。
 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活を豊かに生きるために必要な言語や言葉をもとに、ものごとについて正確に考え、適切且つ多様に表現す
 【学びに向かう力、人間性等】 言語、言葉のもつ価値や感覚を尊重するとともに、自身の言語能力の向上を図ることができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話	聞	書 読					
1 学 期	A わかり合うために 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解できることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 1 「コグロに関する世論調査」によると、相手との伝え合いでは何が重視されているか考える。 2 相手との伝え合いの中で自分が重視していることは何か、考える。 3 考えたことをまわりの人と話し合う。 ・教材 「伝え合いに大事なことを考える」	○	○		【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	5
	B 確かな情報を伝えるために 【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることができるとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 1 教科書40ページの写真を見て、何の写真かを考え、まわりの人と意見交換する。 2 「情報はつくられる」を読み、「情報はつくられる」とはどういうことか、説明する。 ・教材 「情報はつくられる」	○	○		【知識・技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		○	○		1
	C 確かな情報を伝えるために 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることができるとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 1 情報を適切に扱うにはどうすればよいかについて、「情報はつくられる」「ひとまず、信じない」なども参考にしながら考える。 2 自分で調べた資料を加えて考えをまとめる。 3 まとめた自分の考えを3分間で発表する。 ・教材 「情報を編集し、的確に発表する ―パブリックスピーチ」	○	○		【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることができるとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
	D 情報を生かすために 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 1 文章を読み、概要を把握する。 2 減災のためのツールをつくる時に最も大切なことは何か、筆者の考えを説明する。 3 筆者の考えるハザードマップの問題点を、整理する。 ・教材 「減災学をつくる」	○	○	○	【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		○	○		1	

<p>B よりよい書き手になるために</p> <p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項 1 共通するテーマについて書かれた複数の文章から考えたことを、具体的な事例を用いて書く。 2 書いた文章を批評し合う。</p> <p>・教材 「情報を活用して説得的に書く—小論文」 「書いた文章を批評し合う—推敲」</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	6
定期考査			○	○		○	○		1
						○	○		合計
									70